

文化が活きる京都の推進に関する 条例に基づく基本的な指針 取組状況

「寛永行幸」から400年の節目に記念イベントを開催

京都府・京都市・経済界を中心とするオール京都体制の「文化庁連携プラットフォーム」の取組として、行幸行列の再現や各種企画・展示等を行う「寛永行幸四百年祭」を開催

【寛永行幸とは】

寛永3年(1626年)9月に大御所・徳川秀忠と3代将軍・徳川家光の招きに応じて後水尾天皇が二条城に出向いた出来事。様々な書物や絵巻などで記録に残され、後世に語り継がれてきた江戸時代最大級のイベント。

【内容】

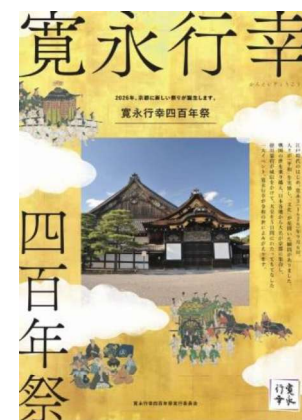
令和7年度(2025年度)

- ・寛永文化講座等の開催(9月～3月)
- ・行幸行列のミニチュア人形の展示
(10月～1月)

⇒令和8年度に向けた機運醸成

令和8年度(2026年度)

- ・寛永文化講座等の開催(5月～9月)
- ・府内博物館等での企画展の開催
(9～1月)
- ・行幸行列の再現(12月6日) 等



職員研修で「初」、いけばな体験を実施

京都に長く受け継がれてきた生活文化「いけばな」を実践する体験型研修を実施し、文化の力で次代の京都府を担う職員を育成

【ねらい】

- ・創造性・表現力の向上や、相互に理解し尊重し合い、多様性を受け入れる土壤の涵養といった「文化の持つ力の体感」と「業務や日常生活への文化の力の活用」
- ・京都で生まれ、今なお京都の暮らしに息づく生活文化の実践を通じた「京都への誇りや愛着の醸成」
- ・共通の体験を通じた「職員間の交流の活発化、良好な関係性の構築」

【参加者の声】

■ 多様性・個性への理解

- ・同じ花材を使っても、一人ひとり全く異なる作品になることに驚いた。
- ・人それぞれの価値観や考え方の違いを実感できた。

■ 心身のリフレッシュ効果

- ・花と向き合うことで心が落ち着いた。
- ・日常業務から離れて集中する時間を持つことができた。
- ・リフレッシュやストレス軽減につながった。



R8～
(拡充)

京の森林文化保全継承事業

文化が活きる
「継往開来」PJ

森林環境譲与税を活用した森林の保全活動を推進

地域の文化と深く結びつき大切に守られてきた森林や名木古木を、地域住民や保全団体等が保全再生するための活動を支援し、京の森林文化を将来の府民に伝える取組を推進

社寺の森 の保全



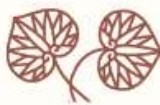
神社、仏閣などの歴史的遺産
と一体となった森林

文化・伝説の森 の保全



山城跡や古道などの文化遺産
や伝説の舞台となった森林

伝統行事 資源の森 の保全



伝統行事に用いられる植物を
育成する森林

伝統産業 資源の森 の保全



伝統産業の素材に用いられる
植物を育成する森林

文化財修理 資源の森 の保全



文化財修理の素材に用いられる
植物を育成する森林

名木古木 の保全



地域のシンボルとなっている
名木や古木

事業内容例

- 森林の整備・維持管理
- 植生の保全・復元
- 森林の改良
- 枯死木・枯損枝・倒木の整理
- 放置竹林の整備
- 森林病虫獣害対策
- 外来種対策
- 樹勢回復治療 など

事業実施主体

- 地域の自治活動を行う団体(自治会、町内会、地域協議会 など)
- 森林等の保全活動を行う団体(NPO法人、守る会、実行委員会 など)

補助金額

補助の対象となる経費のうち100万円以内の定額補助



国際的なトリエンナーレを10月に東本願寺「渉成園」等で初開催

国内外の工芸を集め、〈つくる〉を起点に、アート・デザイン・クラフトが横断する
国際的な創造の対話と共創を創出し、京都が誇る工芸を継承・発展

【概要】

○Youmeメイン展示

- ・京都を拠点とする作家の作品を中心に、京都芸術大学特任准教授 金澤韻が選出
- ・「渉成園」という文人文化が凝縮された空間を舞台に、現代美術・工芸・デザインを融合させた展覧会を開催

○リバティ・ロンドン主催展示、海外キュレーター展示

- ・リバティプリントと丹後ちりめんの協働から生まれた作品群など日英の素材・技法・美意識が出会い、互いを高め合ってきた軌跡を可視化
- ・その他、海外キュレーター陣による各国の作品展示も同時開催

○その他

- ・府内外のアーティスト・工房と連携し、担い手たちの現場を訪問するオープンスタジオ



(提供: Kyōto YouMe Triennale実行委員会)

国際文化都市・京都を舞台に、 「現代アートとコラボレーション」をコンセプトにしたアートフェアを開催

世界各国のコレクターの来京を促し、京都で育てた作家が国際的に評価される仕組みを構築するとともに、京都の秋をアートで彩る取組を展開

【概要】

- 国内外のギャラリーが一つのブースを共有して出展するほか、京都にゆかりのある、国内外のアーティスト・作品の紹介や、フェア会場のブース外では企画展示も実施。
- トークプログラムでは、現代アートのみならず、他領域の登壇者とともに、未来のための新たな価値について考察するセッションを展開。
- 次世代の文化の育成を目指し、鑑賞と制作を合わせたキッズプログラムも実施。



- 10～11月を「京都アート月間」として、京都市内各地で開かれるアート関連イベントを府市連携で一体的にPR。

学校法人立命館と連携・協力に関する協定を締結

立命館大学デザイン・アート学部の開設を契機に、デザイン・アートを起点とした地域活性化をはじめとした多様な連携を推進



R9～
(予定)

ポップカルチャーの国際的表彰制度創設

メディア・ビッグ
・バンPJ

ジャンル・業界横断型の国際的表彰制度の創設を検討

日本のポップカルチャーをはじめとする多種多様な文化・表現をこれまでにない形で表彰する制度を設け、京都から世界に向けて発信する。

京都文化デザインハブ

PPP
POP POWER PROJECT

ポップカルチャーを横断する
専門家コミュニティ

【目的】

ポップカルチャー分野全体の活性化、国際化を図る。
マンガ、アニメ、ゲーム、音楽など各ジャンルに横串を通し、テクノロジーとの融合、海外市場の開拓、他産業分野との連携などを通じて、関連産業・文化の発展を目論む。

【メンバー】

1. 個人専門家
(ポップカルチャーに関わるクリエイター、プロデューサー、研究者、業界団体・政府等代表者)
2. 企業会員(活動に賛同し協賛する企業・団体)

【活動内容】

1. 人材育成、2. イベント開催、
3. 調査研究、4. アワード

協賛企業
(2024.04時点)



(出典) POP POWER PROJECTホームページ(<https://poppowerproject.com/>)

文化体験が人々のウェルビーイング(心身の健康)に与える影響を科学的に評価し、見える化

京都大学等と文化体験の参加者に対するアンケートやインタビュー調査を行い、文化体験によるウェルビーイングの変化を調査

○文化体験の実施

親子向けの「絵本の音楽会」



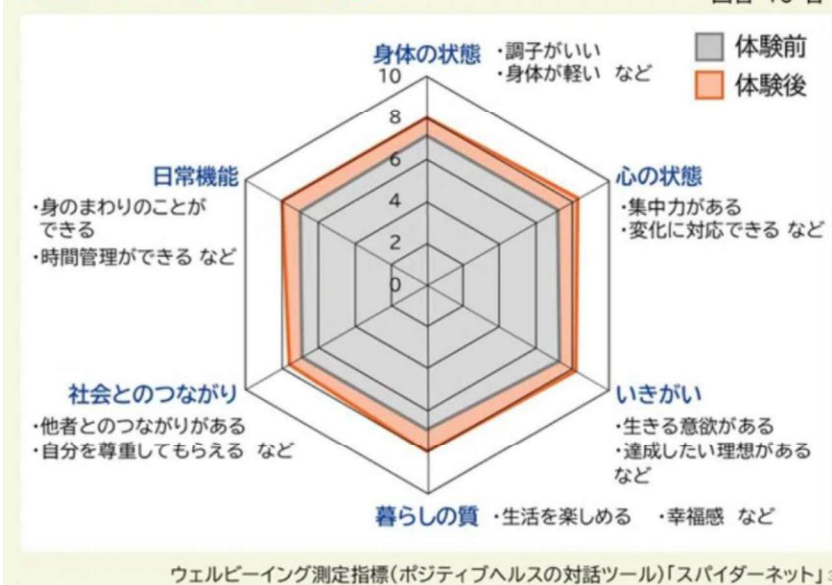
社員、一般向けの「対話型絵画鑑賞会」



○アンケート及びインタビュー調査

ウェルビーイングの変化

回答 40 名



○答えのないもの、人によって見方が違うもの。なのに共感が生まれた。

○役職に関わらず意見を言い合うことで、関係が変わる気がした。

子どもたちの豊かな心や創造性を育み、文化の心を継承

学校等に専門講師を派遣し、小・中学生が茶道・華道等の生活文化を体験できる機会を創出

学校・茶の湯／いけばな・出会いプロジェクト

- 子どもたちの豊かな心や創造性を育むとともに、先人から受け継がれてきた文化の心を次世代に継承することを目的に実施。
- 茶道4流派(三千家、藪内家)、京都いけばな協会の協力を得て、希望する学校へ茶道家及び華道家を派遣し、質の高い茶の湯・いけばな体験授業を実施。

教員等向け体験プログラム

- 府域の学校教員等を対象に、茶の湯やいけばなの体験を通じてその魅力を理解していただき、学校・茶の湯／いけばな・出会いプロジェクトの学校等での実施につなげることを目的に実施。
- 児童生徒の体験メニューに一部を実際に体験。



茶の湯体験



いけばな体験

身近な場所で良質な音楽とともに、地域ごとの文化の魅力を発信

- ◆誰もが親しみやすい文化である音楽で府内一円を満たす音楽祭
- ◆府内市町村、民間団体の音楽をはじめとする文化事業と連携し展開



世代を超えた人と人との繋がりを育み地域活性化などに繋げるため
府内各地の文化資源を会場とするなど、音楽とともに地域の文化の魅力も発信

【事業概要】

○ 室内楽コンサート

- 令和7年度のオリジナルオーケストラメンバーを中心に、京都や関西ゆかりの音楽家が府内の文化施設、庁舎、社寺等、地域の身近な場所を会場として実施する少人数編成のコンサート

○ 奏プログラム（教育プログラム）

- 「集う」（拠点集合型）
コンサートが初めての方や、未就学児を含む全世代を対象として行う、誰もが親しみやすいクラシックコンサート
- 「響く」（学校訪問型）
コンサート出演者等が府内の小中学校へ足を運び、生演奏、直接指導等を実施することで、音楽体験の機会を創出



豊嶋泰嗣 音楽監督 ©中倉壮志朗



民俗芸能×現代演出 新感覚の民俗芸能大会を開催

地域の民俗芸能の継承に資することを目的に、文化と経済の好循環を生み出す取組として、府内の民俗芸能を一堂に集め、光や音などの最新のデジタル技術を駆使した演出を加えることで、若い世代への関心を高める表現を創出し、地域文化の魅力を再発見

【概要】

○民俗芸能公演

- ・府内の民俗芸能が一堂に集い、実演
- ・光や音などの最新のデジタル技術を駆使した演出
- ・特別ゲストを案内人に迎え、民俗芸能団体の紹介やインタビューを行い、伝統と現代の感性をつなぐ架け橋として、民俗芸能の魅力を届ける。

○体験会

- ・民俗芸能団体により、体験会の開催
- ・来場者が実際に道具に触れ、体験。



体験会

<2026出演団体>

嵯峨大念佛狂言保存会（京都市）、城陽おかげ踊りを広める会（城陽市）、
舞鶴平区太刀振り(舞鶴市)、翁会(河来見翁三番叟)(伊根町)、
丹波八坂太鼓保存会(京丹波町)

府内のミュージアムのネットワークを活かした取組の実施

ミュージアムフォーラムのネットワークを活かした博物館等の魅力・機能向上につながる取組を実施し、博物館等を核とした、地域の魅力の掘り起こし・地域文化の発信や次世代と地域文化を「つなげる」取組を展開

博物館を核とした地域の魅力の発信

【合同展覧会事業／合同ワークショップ】



【ミュージアム連携地域活性化プロジェクト】



(城陽コースの様子)



(八幡コースの様子)



(京田辺コースの様子)

博物館の機能強化・博物館支援の取組

【デジタルアーカイブ推進事業】



【石川県研修視察・交流(ミュージアム防災)】



博物館を核とした次世代継承

【次世代と地域文化をつなぐ
ミュージアムプロジェクト「つなプロ」】

京都府全域をひとつの博物館として捉え、様々な取組を一体的・重層的に展開

アートコミュニケーション研修及びミュージアムデビュー応援月間

子どもの芸術文化に触れる機会を拡大し、作品を観察し、感じたことを表現・共有する学びの場を充実させることを目的として、ミュージアムにおけるアートコミュニケーションプログラム導入・発展を支援。

アートコミュニケーション研修

【講師】

伊藤 達矢氏

(東京藝術大学 社会連携センター センター長 教授)

稲庭 彩和子氏

(独立行政法人国立美術館 国立アートリサーチセンター 主任研究員)

【研修内容】

- ・基礎講義(ミュージアムはどんなところ? 観察・鑑賞のプログラムとは? ワークショップとは?)
- ・展示室を活用した実践ワークショップ



ガイドブック「KANSAIミュージアム・ピクニック」

- ・関西の子育て世帯向けミュージアム30館とその周辺スポット60施設を紹介



ミュージアムデビュー応援月間

- ・開催期間: 令和8年5月1日(金)～5月31日(日)
- ・関西の協力施設27館で、初めて来館したこどもに「ミュージアムデビューシール」を配布

数値目標

文化・芸術に関わりを持つ人の割合が増加

指標	基準値 (2024年度)	目標値	実績値 (2025年度)	出典
文化・芸術に関わりを持つ(鑑賞・体験含む)人の割合(%)	61.8	90.0	71.7	文化に関する府民意識調査(府文化政策室)
国内外や異分野との文化的な交流が盛んに行われていると思う人の割合(%)	—	90.0	43.8	文化に関する府民意識調査(府文化政策室)
文化・芸術に係る地域幸福度(Well-Being)主観データ(文化・芸術)偏差値※ ※数値の最小値は20、最大値は80	54.0	70.0	53.5	Well-Being全国調査(デジタル庁)
歴史的な文化遺産や文化財などが社会全体で守られ、活用されていると思う人の割合(%)	82.5	90.0	82.1	京都府民の意識調査(府総合政策室)

文化に関する府民意識調査結果（抜粋）

Q.この1年間で文化に関する活動を行ったか？（複数回答）

	n	直接鑑賞	オンライン配信	サブスクTV等	無料のメディア	有料のメディア	その他文化活動	なし
H30	2000	1074	※R2新設	※R3新設			314	843
H31	2000	1078					384	821
R2	2000	727	219				312	1069
R3	2000	717	462	735			193	760
R4	2000	845	387	681			212	745
R5	2000	864	366	693			227	724
R6	2000	840	354	700	※R7項目整理		223	763
R7	2000	757	※R7項目整理		1214	630	193	566

文化に関する府民意識調査結果（抜粋）

Q.直接鑑賞の内容（複数回答）

	n	音楽	美術	演劇	舞踊	映画	メディア ア芸術	伝統 芸能	芸能	生活 文化	歴史的 建築等 の見学	その他
H30	1074	465	456	190	57	653	108	99	89	106	379	16
H31	1078	378	409	158	63	694	191	105	69	90	334	8
R2	727	129	203	61	21	409	200	23	31	28	137	20
R3	717	192	208	72	27	443	168	37	32	33	140	21
R4	845	243	277	91	23	478	153	41	44	45	171	20
R5	864	281	267	86	37	494	181	61	54	51	200	21
R6	840	301	297	109	46	483	153	61	63	48	203	6
R7	757	311	285	97	28	425	67	49	60	44	242	10

文化に関する府民意識調査結果（抜粋）

Q.主体的に関わる文化活動の内容（複数回答）

	n	音楽・ 美術等の 創作・参 加	音楽・ 茶道等の 習い事	地域芸 能や祭り への参加	子どもの 文化体 験支援 活動	文化施設 における 支援活動	文化的 行事開 催の支 援活動	歴史的 建築等 の保存・ 活用支 援活動	その他
H30	314	108	102	164	63	48	55	38	11
H31	384	124	158	180	68	49	60	53	7
R2	312	91	104	64	40	37	39	29	10
R3	193	78	71	65	33	24	14	22	10
R4	212	77	80	66	25	35	28	19	12
R5	227	70	80	96	27	43	47	25	18
R6	223	83	83	76	31	38	36	25	12
R7	193	81	71	56	19	37	35	33	4